



【活動内容】

場所： 群馬県桐生市 織物参考館“紫”・(公財)桐生地域地場産業振興センター・桐生商工会議所

日時： 2018年10月21日(日) 参加学年： 未来創生塾1年 28名

身をもって感じた織物の文化

10月21日、未来創生塾1年生は織物の文化や歴史を学んだ。午前中は2グループに分かれ、それぞれ織物参考館“紫”と桐生地域地場産業振興センターに向かった。織物参考館“紫”では、織物の歴史や様々な時代の機織り機を見学することができた。桐生地域地場産業振興センターでは、民族衣装の展示を見ながら桐生織塾塾長の新井さんと桐生地域地場産業振興センター荒島さんから世界の織物について話を聞き、衣装の試着もさせていただいた。また、午後には桐生商工会議所にて新井さんの指導の下、カード織りの体験をすることができた。

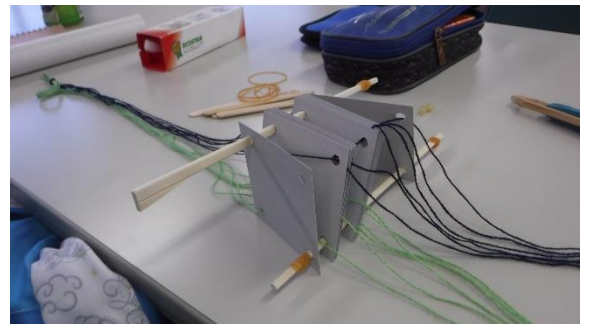
織物参考館“紫”の見学では、展示してある機織り機に1年生の皆さんも吃驚しているようだった。機織り機で機織りをさせていただいたときは、皆とても楽しそうだった。未来創生塾1年の福田晴海くんは「色々な機械があつてすごかった。機織り機で機を織るのが楽しかった。」とコメントした。

桐生地域地場産業振興センターで見た世界の民族衣装展『グアテマラの民族衣装 Vol.1』はとても華やかな柄で、織物とは思えないような出来だった。各国の民族衣装試着のときに着たブータンの衣装はとても重量感があり、歩くだけでも大変だった。

桐生商工会議所で体験したカード織りは、自分も3年ぶりに体験してみたが、なかなか気に入ったものができず苦戦した。1年生も糸が絡まったり、うまく織れなかったりと最初は大変そうだった。

それでも、最後まで皆集中して取り組み、それぞれの作品が完成した。未来創生塾1年の山藤菜月さんは、「難しく、間違ったりしたけど最後までできてよかった。」とコメントした。

この1日の体験を通して、皆織物のことをよく知ることができたようだった。



織物参考館“紫”にて説明を聞く塾生



民族衣装の話を熱心に聞く塾生